

函館から世界を変える

▶よりよい地球市民となる

サイエンス・サポート函館 活動指針 (2015.1.25)

科学をまちに出す

みんなで話をする

■函館から世界を変える

2009年



2009年8月 サイエンストーク
高校生による、科学技術と社会に関わる課題についての研究発表について、コメンテーターがその成果を称えながら助言し、会場で問題意識を共有した。



2009年8月「ワールドプロセッサー」インゴ・ギュンター 108の地球展
現在起こっていることを表現した地球儀作品の展示。現代社会と地球が直面している問題を紹介、参加者の理性と感性に訴えた。



2010年8月 'おいしく食べる'の科学展
BSE問題を題材とした展示では、科学技術を使ってわかることの限界を表現。科学技術とどのように付き合っていくのか、考えるヒントを提供した。



2011年8月 絵本カーニバルin 科学祭
絵本を媒体として、世代を超えて自然に打ち解けられるコミュニケーションの場と、子どもと未来について考える機会を提供した。



2010年8月 サイエンスダイアログ | 食の未来を函館から考える
世界料理学会を立ち上げた函館の料理人、深谷宗治さんを迎えての講演会。人間の根幹である食について「おいしい」を追求する料理人ならではの視座を紹介。



2012年8月 企画展 | 人間・海の資源
人間が、科学技術と共にどのように主体的に歩んで行くのか、ブルーエコノミーなどのキーワードを提示しながら、展覧会を通して問題提起した。



2012年2月 ドクター・パンヘッドからのビデオメッセージ
函館での初来日公演から3年後、故郷の英国エンジニアバラ布から函館に向けビデオメッセージ。好奇心の大切さと科学的な理解を育む方法について。



2011年8月 科学夜話スペシャル
原発事故のドキュメンタリー番組を制作してきたディレクター七沢深さんから取材を通して知った放射能汚染の事実、問題点の話聞き、科学技術が現実にもたらした負の側面と、その向き合い方について考える機会を提供した。



2013年8月 科学夜話スペシャル | 函館からフードシステムを考える
食品安全の専門家や、函館地域で食品加工に携わる方を交えて科学技術と食が関わる社会的な問題について議論し、日常生活からは見えにくい問題点を参加者と共有した。



2013年8月 企画展 | みんなの食卓
エネルギーを摂取することだけではない、「食」が持つ多様な文脈についてパネル展示を通して紹介し、食卓から見える地域と世界とのつながりについて考える機会を提供した。



2014年8月 企画展 | みんなの健康マルシェ
展覧会のストーリーを通して、健康の意味や、函館地域の健康課題について投げかけをし、個人々々の健康についての意識づくりを提案した。



2014年7月 2050年委員会 in ハコダテ | わたしの健康、ハコダテの健康
行政の健康推進担当者、死を看取り続けてきた看護師からの話題提供を受けて、タハコ問題、死との向き合い方、函館での子育てなど参加者の問題意識を元に函館の未来について話をした。

2014年